

ぞうきん

【ぞうきんは、なりたくてぞうきんになったわけでもないのに、人知れず灰となり、無くなっていく】

これは何ですか？　そうです。ぞうさんですね。ぞうさんの歌を知っていますか？

ぞうさん　ぞうさん
おはなが　ながいのね
そうよ
かあさんも　ながいのよ

この歌はほとんど人が知っていると思いますが、詩を作った人は‘まどみちお’という人です。まどみちおさんは「ぞうきん」という詩も作りました。

ぞうきん

雨の日に帰ってくると
玄関でぞうきんが待っていてくれる
ぞうきんでございます
という　したしげな顔で
自分でなりたくてなったのでもないのに

ついこの間までは
シャツでございます　という顔で
私に着られていた
まるで私の
ひふででもあるかのように　やさしく
自分でそうなりたかったのでもないのに

たぶん　もともとは
アメリカか　どこかで
風と太陽にほほえんでいたワタの花が

そのうちに
灰でございます　という顔で灰になり
無いのでございます　という顔で

無くなっているのかしら
私たちどのこんな思い出もいっしょに
自分では何にも知らないでいるうちに

ぞうきんよ！

ぞうきんは、なりたくてぞうきんになったわけでもないのに、人知れず灰となり、無くなっていきます。

先日、私はトイレの便器に投げ捨てられているぞうきんを見ました。また、校舎の隅に無造作に置かれたぞうきんも見ました。あのぞうきんたちも、灰となり、無くなっていってしまうのでしょうか。

みなさんのぞうきんは、どうしているのでしょうか？

みなさんのぞうきんになって良かったと、そんな思いでいてくれたらいいですね。

今日は「ぞうきん」という詩を紹介しました。終わります。